

福生市議会だより

FUSSA

No.181

発行 福生市議会
平成23年10月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成23年 第3回定例会

平成22年度決算を認定

平成23年11月から福生市防犯カメラの設置及び運用に関する条例が施行されます！

主な内容

- 可決された案件……………2面
- 平成22年度決算審査 ……3面
- 一般質問 ……………4～6面
- 委員会の審査 ……………7面
- 特別委員会活動 ……………8面

本会議の経過

平成23年第3回定例会は、9月5日から9月30日まで26日間の会期で開催され、18人の議員が一般質問を行った後、条例の制定・一部改正、補正予算、各部会計決算、行政委員の任命・選任等21議案、委員会提出議案1件と、陳情4件などの審議が行われました。

▼1日目（5日）は、一般質問の通告者が18人、通告時間が20時間5分であること、議案を付託する委員会の開催日数等を勘案して、定例会の会期を26日間と決定しました。

▼2日目（6日）は、住宅政策について、円高による福生市の影響について、都市計画道路3・4・7号線通称富士見通りについて、学校教育にサードパスについてなど市政全般にわたる内容の一般質問を行いました。

1日目に続き、6人の議員が、安全安心まちづくりについて、都市計画道路・多摩橋通り及び産業道路の延長工事について、都市基盤整備について、障害者基本法の一部を改正する法律について、福生市次世代育成支援行動計画について、横田基地を行いました。

の委員会に付託されました。続いて、平成22年度福生市一般会計決算認定、各特別会計決算認定5件について、提案理由の説明がなされ、所管の委員会に付託されました。さらに、新たに提出された陳情2件は、所管の委員会に付託し審査されることになりました。

現在、東京都には、都立芝浦屠場があるが、この施設は、都内の零細畜産農家の経営実態に合っていないため、都内の零細畜産農家は、八王子市内にある都内唯一の民営と畜場である八王子食肉処理場を利用することで、安定的な畜産経営を続けている。そのような中、東京都は「八王子食肉処理場は、TOKYO Xを初めとする肉及び乳廃用牛の出荷先として、都内畜産農家にとって重要な施設である。」として「都内畜産農家経営の安定を図るため、八王子食肉処理場協同組合による処理場運営の支援及び新たな食肉処理場の整備について検討する。」ことを目的として、畜産農家を有する19市町と関係団体から成る八王子食肉処理場運営協議会を設置して、平成15年から検討をしているが結論に達していない状況である。一方で、八王子食肉処理場は、施設等を八王子市が賃貸しており、平成24年3月で満了となるが、万一、八王子食肉処理場が運営されなくなると、都内の零細畜産農家は経営存続の危機となる。

委員会提出議案第3号 都民のための食肉処理場の整備するまで八王子食肉処理場の継続的運営を求める意見書

▼3日目（7日）は、2日目に引き続き、6人の議員が、立川断層などの活動活性化について、公会計制度改革について、福生市観光案内所について、敬老の日を迎えて、放射性廃棄物の処理について、入札制度についてなどの一般質問を行いました。

このことから、東京都の責務として、八王子食肉処理場運営協議会へ、都民のための食肉処理場の整備を早急に検討するよう強く求める。1 東京都の推奨で経営しているTOKYO Xを守ることも多摩地区の畜産農家の保護のため、八王子食肉処理場の継続的運営を求めること。

▼4日目（8日）は、3日目に引き続き、1人の議員が、米軍横田基地についてなどの一般質問を行い、通告のあった18人のすべての一般質問が終了しました。

その後、市長提出議案「福生市個人情報保護条例の一部を改正する条例」を初め、11議案の提案理由の説明がなされ、所管

2 都立芝浦屠場に投入している予算のうち、東京都産畜産の取り扱い割合に応じた額を、八王子食肉処理場の整備に割り当てること。以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。



▲敬老大会(23.9.11)



▲全面開園した福生南公園

(提出先 東京都知事)

平成22年度決算の概要

今回の定例会に、平成22年度一般会計決算及び5つの特別会計決算が提出されました。

本会議では、一般会計決算については18人で構成する決算審査特別委員会を設置して付託され9月12日から15日まで行われ、特別会計決算については建設環境委員会、市民厚生委員会に付託され、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

5つの元気施策の成果と状況は

問 平成22年度決算の新規・レベルアップ事業における「5つの元気施策」の状況は。

答 新規・レベルアップ事業は32事業、そのうち「子育てが元気」のつくし保育園建設費補助、「まぢが元気」の防犯フェスティバルなど11事業は完了、残り21事業は平成23年度に継続実施している。また、7事業は市制40周年記念事業として実施しているのが特徴となっている。財源は32事業中19事業を国・都補助金等の特定財源で賄い、一般財源支出は8801万円余りで、全体事業費の78%は特定財源活用で実施した。

市民税の課税状況について(個人分のところへ)

問 市民税の個人分の普通徴収は対前年比27.41人の4.8%減で、年金特徴も加わり減少が進んでいるが、その内容をどのように見ているのか。

答 給与特徴は23年度では伸びが期待できるのか。変化はないが、年金特徴は増加傾向。普通徴収が減少しているのは営業所得、譲渡所得、普通徴収の給与所得が減少しているもので、景気低迷の影響と思う。所得が200万円以下の納税義務者数が増加し、それを越えた所得者は減少し、全体的に所得が低い方にシフトしている、課税にならない人数が増加していると思われ。

臨時財政対策債について

問 臨時財政対策債2億8千万円の利率は幾らで、何年間で返すのか。

答 利率は1.1%、返済期間は20年だが、借り入れ10年後に利率は見直しがある。地方交付税の基準財政需要額に臨時財政対策債償還費が載っているが、3億5274万円である。

男女共同参画推進費について

問 22年度に男女共同参画推進審議会が開催されたが、設置理由と審議の内容、構成メンバーについて伺いたい。

答 第4期行動計画策定に向け、DV法の改正、仕事と生活の調和憲章の制定など、男女共同参画に対する社会の流れ等を踏まえ、基本的な考え方について審議した。メンバーは学識経験者と福祉関係者、小・中学校の校長から1名、商工会会長、公募市民2名の計6名である。

22年度参議院議員選挙費の経費削減は

問 22年度の参議院議員選挙において、開票事務は前の選挙に比べどれだけ経費が削減されたか。また、高齢者雇用はどう

だったのか。当初予算を組む時の目標に対してはどうだったのか。

答 前回選挙の19年比で10%ほどの経費削減を目標にしたが、227万8366円減、11.3%減となり目標は達成できた。また、執行経費が減になった部分で、開票事務等の委託をシルバー人材センターの10名に携わっていたが、高齢者雇用及び経費削減につながると考える。

学童クラブ待機児童について

問 現在、待機児童はゼロだが、武蔵野台クラブと第2武蔵野台クラブはそれぞれ定員53名のところ、23年3月1日で30人と20人の受け入れ状況だ。一方、亀の子クラブは定員45人に61人である。22年度の状況と、今の時点どう考えるか。

答 二つの学童クラブに分かれている武蔵野台クラブは、第一小学校と第六小学校児童の受け入れをしており、都型学童クラブ事業補助金の申請要件である。生活スペース1.65平米の確保と

地球温暖化対策補助金の実績は

て太陽光発電を中心に取り組んでおり、昨年に比べてかなり増加していることは評価しているが、時代が要請する金額からいうとさらに伸ばしていきたい。

答 申請は7月、10月、1月と3期に分けて受け付け、初回は申請順、2回目、3回目は抽選で実施し、毎回801万円の予算額の3割である267万円まで助成できる形で申請順に助成し、1期目は50件のうち31件、2

期目は79件のうち37件、3期は82件のうち36件助成している。

地域ブランド発信モデルの成果は

問 地域ブランド発信モデル事業で、市内観光ツアーガイドは参加者の評判が大変よかったとのことだが、この成果をどのように見ているか。

答 22年度は通常のガイドツアーを5回、地元のお店街を回るテイステイングツアーを1回実施した。特にテイステイングツアーは定員10人のところ

る満員で、地域の商店街で普段は入りづらいところにも入りやすかったと好評である。今後、実施される商店街まつりにも「くるみるふっさ」が参加し、ツアーを行うなど効果的に商店街の振興につながっていると考えている。

給食における地場野菜の使用状況は

問 給食における地場野菜の使用状況が前年度と比べてどのような変化があったのか。また米飯給食が減っているようだが、

状況を伺いたい。

答 21年度は22回で10種類、22年度は32回13種類の食材を使用している。米飯給食は文部科学省で週3回以上の実施が望ましいとなっているが、当市の給食センターは非常に狭く、作業行程における衛生管理の問題により献立内容に制限が生じることから、週2・5日を限度して考えているが、

米粉を原料とした米粉パンを月2回程度使用してできるだけ週3回に近づけている。



▲平成22年度一般会計決算を起立多数で認定

平成22年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	219億4,024万0,326円	215億5,430万7,089円	3億8,593万3,237円
特別会計			
国民健康保険特別会計	58億4,804万6,611円	60億3,403万0,148円	▲1億8,598万3,537円
老人保健医療特別会計	414万8,048円	414万8,048円	0円
介護保険特別会計	30億0,571万6,814円	29億5,370万8,813円	5,200万8,001円
後期高齢者医療特別会計	8億5,877万7,904円	8億3,593万8,119円	2,283万9,785円
下水道事業会計	15億5,385万5,019円	15億2,558万1,698円	2,827万3,321円
総合計	332億1,078万4,722円	329億0,771万3,915円	3億0,307万0,807円

平成22年度 一般会計決算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合

平成22年度		平成21年度	
歳入	割合	歳出	割合
81億36万9,549円	(36.9%)	95億8,240万5,776円	(44.4%)
35億1,030万3,340円	(16.0%)	26億534万6,215円	(12.1%)
31億734万6,380円	(14.2%)	26億141万8,395円	(12.1%)
28億2,797万8,000円	(12.9%)	24億945万2,457円	(11.2%)
14億5,729万3,000円	(6.6%)	12億7,519万1,859円	(5.9%)
6億1,929万7,000円	(2.8%)	12億2,195万5,438円	(5.7%)
5億5,323万9,088円	(2.5%)	8億7,788万1,359円	(4.1%)
3億6,833万4,866円	(1.7%)	5億425万500円	(2.3%)
3億640万円	(1.4%)	2億7,163万4,520円	(1.3%)
2億5,957万899円	(1.2%)	1億4,806万1,208円	(0.7%)
8億3,010万8,204円	(3.8%)	5,670万9,362円	(0.2%)
歳入合計	219億4,024万326円	歳出合計	215億5,430万7,089円

市民が来庁せずに申請できる電子申請サービスの利用状況は

武藤 政義 議員

質問 インターネットを利用することにより市民が来庁せずに申請することができる電子申請サービスを実施しているが、利用状況は。

市長 平成 22 年度は 10 の手続きのうち 6 の手続きで 381 件で、大部分がスポーツ講座である。年度別で 2 2 年度が増加しているのは携帯電話の申請による追加機能の成果が出たもので、今後とも利用促進や申請手続の拡大を促していきたい。



▲電子申請サービス

ICT 教育の推進とその取り組みは

乙津 豊彦 議員

質問 デジタル読解力調査で、韓国 1 位、日本 4 位だったが所見は。教職員のパソコン等利用の推進状況とホームページ活用など、学校の ICT を利用した教育への取り組みは。

教育長 パソコンを活用した効果的な指導等ができるよう、情報教育推進委員会で研修等を行うとともに、夏季休業中に、学習支援ソフトの活用やパソコンを使った授業づくり等の教員研修を充実させている。



▲パソコン授業（第一小学校5年3組）

階段幅を広げ、危険防止を——牛浜駅改修——

末次 和夫 議員

質問 駅構内の階段幅が従来よりかなり狭い設計だが、通勤等ラッシュ時の危険を考え、最低 2 m 位にできないか。エスカレーターも上下の切り替えや機種変更は可能か。

市長 JR は、エスカレーターの利用を含めた人の流れの検証で、階段幅は支障がないとの見解だが、幅の拡大要望をしていきたい。またエスカレーターの切り替えは可能だが、機種変更は厳しいので理解願いたい。



▲牛浜駅

山王橋通りの安全対策は

清水 義朋 議員

質問 国道 16 号線工事に伴うボックスカルバート工事がされており、その周辺の一つ山王橋通りは熊川の方々にとり大事な生活道路であるが、非常に狭いところもある。現状どのような安全対策がとられているのか。

市長 市街化が進んでおり、道路幅は大変厳しい状況なので、当面は危険箇所にカラー舗装、カーブミラー、イメージハンブ等の設置をして、安全対策を図っていきたい。



▲山王橋通り

スピーディーに開設された「福生街なか涼み処」の現状は

原田 剛 議員

質問 節電意識が高まる中、熱中症患者も急増し、予防対策に公共施設を開放する自治体も出てきた。当市も迅速に「福生街なか涼み処」を開設したが、その現状を伺いたい。

市長 広報を見てわざわざ来られたり、他の場所と比較されたり等、各所で 1 日平均 2 ～ 3 人が 30 ～ 40 分滞在し、節電できるのでありがたい等の声があった。提案いただき、感謝をするところである。



▲「福生街なか涼み処」案内ポスター

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、18 人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は 3 種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし 4 ページから 5 ページに掲載しました。一般質問の項目は 6 ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、11 月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認してあります。

若者の定住策としてハウス村を設立し、魅力的なまちづくりを

町田 成司 議員

質問 福生市独自の文化、財産であるハウスを生かして若者を誘致し、人口増を図れないか。また、ハウスの街並みが観光名所となり、観光客を呼び込めるような魅力あるまちづくりをすることを提案したい。

市長 ハウス村構想は若者世代が魅力を感じ、福生市に住んでみたいと思うまちづくりの手法として民間の行う自由な発想やアイデアであると考えている。



▲福生の「米軍ハウス」

交通安全の協力組織としての交通安全推進委員会の活動内容は

申田 金八 議員

質問 市の行事の際の交通整理や交通安全講習会など多くの活動をされているが、苦勞や問題点を理解していない市民も多いので、活動状況や協力組織の内容を伺いたい。

市長 委員数は 104 名で、今年で 24 年目を迎え、春・秋の交通安全運動をはじめ七夕まつり、さくらまつりにおける交通安全対策やさまざまな PR 活動に協力いただき、交通事故の減少に大きな成果を上げている。



▲活動中の交通安全推進委員

富士見通りの拡幅整備に向けての今後の取り組み、見通しは

柳川 英司 議員

質問 福生駅以東の重要な道路であり、商店街活性化や安全安心なまちづくりに向け取り組まなければならないが、整備に向けての今後の取り組み、見通しは。

市長 単なる道路の拡幅だけではなく魅力的な中心商業地としての整備が必要であると考えており、地元の皆さまと懇談会を行い検討し、道路拡幅については土地開発公社による用地買収を先行していきたい。



▲富士見通り

ランチと弁当の併用方式を改め、今こそ中学校給食の実施を

池田 公三 議員

質問 ランチと弁当の併用方式は食育には活用できず、就学援助家庭には重い負担となっている。小学校の給食センター建替えが予定されている今こそ中学校給食を実施すべきではないか。

教育長 ランチルーム開設までに各種検討がされ、昼食対策としての開設である。食育はさまざまな機会に指導推進している。また給食センター建替えはあくまでも小学校のものであり、検討していない。



▲第三中学校ランチルーム

敬老の日を迎えて敬老記念品・敬老金のお届けの実態は

大野 悦子 議員

質問 敬老記念品や敬老金を届けることで本人確認をするよい機会になると思うが、対象者はどのくらいで、どのように届けられ、実績はどのくらいか伺いたい。

市長 敬老金は民生・児童委員が、記念品はシルバー人材センターにお願いし、直接本人に渡すことを原則とし、できない場合は家族等に渡し、不在の場合は不在票を配付しており、配付率は両方とも約 99%である。



▲市長訪問（川島悌二様）

ファミリー・サポート・センター事業の進捗はどうか

岩崎 百合子 議員

質問 次世代育成支援行動の後期計画で、ファミリー・サポート・センター 1カ所立ち上げとあるが、どのように進んでいるか。社協が行うほっとサービスと混同されないよう、PRの工夫はどのようにするのか。

市長 社協と支援方法を協議する中で、市独自なものを設置するため、事業実施に向けた検討作業に入っている。説明会等でわかりやすく、積極的に事業のPRに努めていきたい。



放射線から身を守るための給食食材調達の方法は

阿南 育子 議員

質問 給食食材の種類・産地・出荷段階での放射線検査結果の公表については評価する。

当日朝の納入なので、当日測定は難しいとのことだが、お弁当や水筒の持参については、どうか。

教育次長 現在、牛乳に関しては、止めている児童がいるが、給食・牛乳の辞退の希望があった場合は、安全への取り組みの説明を行なったうえで、最終的には保護者が判断することになる。



放射性廃棄物保管報道と時間差のいきさつは

杉山 行男 議員

質問 8月6日、米軍施設内に放射性廃棄物保管の新聞報道がされ、この件で、横田基地に関する情報提供が議員にあったのは、8月19日である。経緯を伺いたい。

市長 横田基地周辺市町基地対策連絡会幹事市の羽村市が外務省に8月9日に照会した。その回答が8月17日に羽村市にあり、羽村市からの情報提供に基づき8月19日に報告したもの。



▲放射線測定器

落札率の高止まり傾向を防ぐための一般競争入札制度への切り替えは

青海 俊伯 議員

質問 指名競争入札の落札率の高止まり傾向への認識、評価は。地域要件を加えた、条件付き一般競争入札制度への切り替えの考えはあるか。

市長 予定価格は東京都基準で積算しているが、入札価格は業者が難易度等を積算して決めている。規模等で落札価格も変わるので、一概に落札率をもった比較はできない。

総務部長 条件付き一般競争入札については、今後勉強していきたい。



▲電子調達サービス

路線バスの運行便削減に伴う市内交通手段の現状は

五十嵐 みさ 議員

質問 路線バスの運行便減少によりそれぞれの地域への移動が不便になったとの市民の声が寄せられているが、現状についての見解は。

市長 バス会社では、定期的に行うバス路線の需要調査結果を参考に運行計画を立てており、当該路線は利用者の増加が見込めないため増便はできないとのこと。市が補助金を払うことで増便は可能だが、費用対効果や市の財政面から難しい。



横田基地内自動車税と環境汚染について

奥富 喜一 議員

質問 米軍と日本の自動車税体系の違いで4倍の開きがあると聞くが、その事実は。軽飛行機の低空飛行は騒音だけでなく、大気汚染の問題もあり、健康被害をもたらす危険についてどう思うか。

市長 横田基地周辺市町基地対策連絡会で、自動車税の優遇制度是正要請をしている。また、市内上空でセスナ機が低空飛行しないよう、事あるごとに横田基地に要請している。



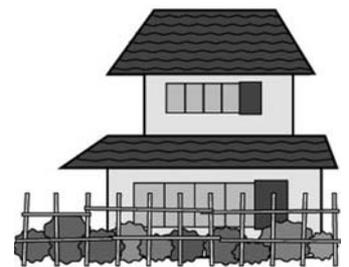
▲横田基地第2ゲート

空き家比率が他市より高く、新築も少ない。早期の対策を

堀 雄一朗 議員

質問 空き家が年々増加、働き盛り世代の転出も多い。一方で新築戸数が少ない。建替えを促進する施策が必要では。

市長 新たな宅地開発が困難な中で、老朽化した賃貸住宅等の空き家をファミリー層向け住宅へ建替促進するとともに、空き家の有効活用を図るための施策が必要である。さらに住環境も整備し選ばれ続けるまちを目指して努力していきたい。



次回定例会のお知らせ

平成 23 年第 4 回定例会は、11 月 29 日(火)から 12 月 16 日(金)までを予定しています。

◆本会議（予定）午前 10 時開会

11 月 29 日(火)～ 12 月 2 日(金)及び 12 月 16 日(金)

◆常任委員会（予定）午前 10 時開会

12 月 6 日(火)～ 12 月 8 日(木)

★市議会を傍聴してみませんか★

本会議・委員会はどなたでも傍聴できます。傍聴の受付は会議の当日、市役所第 2 棟 3 階の議会事務局で行います。

公園のバスケットボードが使用禁止になっているが、現在の状況は

田村 正秋 議員

質問 夜間の騒音問題等の理由からバスケットボードが使用禁止となっている公園があるが、利用者から再開の声も聞く中でその後の状況は。

市長 長沢公園では騒音等の苦情により現在使用禁止となっているが、再開させるためには町会や近隣住民の方の御理解が必要だと考えている。他の公園では当初 8 公園に設置されていたが、近隣からの苦情等により現在は 3 公園となっている。



▲長沢公園のバスケットボード

平成23年 第3回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 町田 成司 (併用)	1 住宅政策について (1)賃貸住宅の空室状況及び住宅問題の要因について (2)若者の定住住宅について 2 教育について (1)海外派遣について (2)幼児教育について 3 商店街振興策について (1)商店街の現状から脱皮するための策について (2)行政として、商店街がまちの中でどのような役割があるのか	⑪ 杉山 行男 (併用)	1 横田基地について (1)航空総隊移駐の進捗状況について (2)横田基地に保管されている放射性廃棄物について (3)友好祭について 2 公園・緑地の管理について (1)みずくらいど公園について (2)玉川上水緑地遊歩道法面の破損について (3)日光橋公園・武蔵野橋下付近の治安と管理について 3 教育行政について (1)中学校教科用図書選定について
② 串田 金八 (一括)	1 円高による福生市の影響について (1)市税減収の対策について (2)「5つの元気」の今後の推進について 2 交通安全について (1)福生市の交通安全の協力組織について (2)福生市交通安全推進委員会について	⑫ 五十嵐 みさ (一括)	1 立川断層などの活動活性化について (1)立川断層・南海トラフの福生市の認識について (2)過去の歴史と防災計画について (3)今後の情報開示について 2 デマンド交通システムと福祉バスの運用改善について (1)市内の交通手段の現状について (2)デマンド交通システムの導入について (3)福祉バスの運用改善について
③ 柳川 英司 (併用)	1 都市計画道路3・4・7号線通称富士見通りについて (1)現状について (2)計画内容について (3)計画の進捗状況について (4)今後の取り組み、見通しについて	⑬ 堀 雄一朗 (併用)	1 公会計制度改革について (1)健全化判断比率から見た現状と課題について (2)新地方公会計制度について (3)財務諸表4表から見た現状と課題について (4)東京都方式について 2 特定防衛施設周辺整備調整交付金について 3 情報発信について (1)福生市の情報発信力の向上について (2)ふっさ情報メールの活用について 4 空き家対策について
④ 池田 公三 (一問一答)	1 安心・安全のまちづくりについて (1)熊川駅のバリアフリー化について (2)地域自立型小規模発電について (3)被災地復興支援の取り組みについて 2 学校教育について (1)中学校給食について (2)中学校教科書採択について	⑭ 田村 正秋 (一括)	1 福生市観光案内所について (1)開設以降の利用状況等について 2 横田基地について (1)航空総隊司令部移駐の進捗状況等について 3 市内公園のバスケット設備の状況について (1)公園のバスケットボードの使用禁止について 4 防災教育について (1)福生市防災マップ・洪水ハザードマップの活用等について
⑤ 武藤 政義 (一括)	1 市政情報配信サービスについて (1)ふっさ情報メールの内容及び利用状況について 2 電子申請について (1)概要及び利用状況について 3 市営プールについて (1)意義、目的について (2)業務委託の内容及び施設の環境整備について 4 給食センターについて (1)意義、目的について (2)業務内容及び人員配置について	⑮ 大野 悦子 (一括)	1 敬老の日を迎えて (1)ここの敬老の日をどう迎えるのか (2)敬老祝金・祝品お届けの実態は (3)市民会館で行われる敬老大会、参加者の減少の対策は 2 安全安心まちづくりについて (1)防災行政無線が聞き取りにくい地域への対策のその後 (2)東日本大震災から早6カ月、市の防災対策は、また、その後の被災地支援の福生市の対応は 3 福生市社会福祉協議会と町会等のかかわりについて (1)福生市社会福祉協議会の役割と町会等の役割分担は
⑥ 乙津 豊彦 (併用)	1 安全安心まちづくりについて (1)安全安心まちづくり条例施行後の取り組み状況は (2)刑法犯の状況について (3)駐在所または交番の設置要望について 2 放射能汚染について (1)市民への情報提供は 3 福生市教育推進プランについて (1)推進事業計画について (2)児童・生徒の問題行動への取り組みは (3)ICTの取り組みについて	⑯ 阿南 育子 (一問一答)	1 放射性廃棄物の処理について (1)焼却灰について (2)横田基地低線量放射性廃棄物について 2 放射線から身を守ることに (1)給食食材の調達について (2)ランチルーム食材の調達について 3 行財政改革としてのPPS事業者との契約について 4 大災害への備えについて (1)避難所運営マニュアルについて (2)3.11当日の小・中学校の対応について
⑦ 末次 和夫 (一括)	1 都市計画道路・多摩橋通り及び産業道路の延長工事について (1)進捗状況及び当面の課題について (2)東電の負担金が停止になった場合の電線類地中埋設(無電柱化)工事の影響について 2 牛浜駅の全面改修について (1)西口駅前について (2)駅構内の階段の幅及びエスカレーターについて (3)3回目(最終)の説明会について	⑰ 青海 俊伯 (一問一答)	1 入札制度について (1)入札の透明性を担保する施策について (2)近年の落札率の動向について (3)予定価格の事前公表について (4)指名競争入札の落札率の高止まりについて 2 介護ボランティアのポイント制導入について 3 放射能汚染と教育現場について (1)原子力エネルギーと放射線の教育について (2)放射線汚染と学校給食などの食の安全について (3)学校施設など児童・生徒に係る場所と放射線汚染対策について
⑧ 清水 義朋 (一括)	1 都市基盤整備について (1)五丁橋通りの安全対策について (2)山王橋通りの安全対策について 2 福生市の外国語教育について (1)小学校の外国語教育の現状について (2)ALT(外国語指導助手)の現状について (3)福生市の外国語教育の将来像について	⑱ 奥富 喜一 (一問一答)	1 米軍横田基地について (1)航空総隊司令部移駐関連工事の進捗状況について (2)航空自衛隊「横田基地」に関連して (3)横田基地周辺への放射線測定器設置について (4)米軍横田基地内の自動車税と環境汚染問題について (5)事件・事故等6月議会以降での情報はるか 2 生活保護世帯のクーラーなど購入資金について 3 国民健康保険における窓口負担の減免等について 4 「福生街なか涼み処」の開設について 5 コミュニティバスについて
⑨ 原田 剛 (併用)	1 障害者基本法の一部を改正する法律について (1)雇用の促進について (2)情報の利用におけるバリアフリー化について (3)選挙等における配慮について (4)教育について 2 節電対策について (1)LED灯について (2)福生街なか涼み処について (3)節電コンテストについて (4)電力供給について		
⑩ 岩崎 百合子 (一括)	1 福生市次世代育成支援行動計画について (1)ファミリー・サポート・センター事業について		

委員会の審査から

建設環境委員会

9月20日に委員会が開催され、議案3件と陳情2件の審査を行い、議案はすべて原案のとおり可決、認定し、陳情は1件が採択、1件は継続審査となりました。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)
問 まちなかおもてなし事業委託料の内容は。
答 観光案内所事業とモビリティ事業は、24年度も都の緊急雇用創出事業の対象となる事から次年度にまたがるレベルアップ事業として計上した。
◎平成23年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情等の審査が9月20日、21日、22日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

また、災害に強いまちづくり特別委員会及び横田基地対策特別委員会が9月26日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。



▲資源売払収入になる廃棄プラスチック

問 流域下水道事業債の利子償還はあったのか。
答 22年度の流域下水道事業では、借入を起こしおらず利子償還はなかった。

◎平成22年度福生市下水道事業会計決算認定について
問 使用料の滞納繰越分843件の人数は何人か。
答 411人になる。
問 前年度に比べ使用料

9・8%減少しているがその理由は。
答 主な原因は、横田基地の使用料が減少したためである。

◎都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場の継続的運営を求める陳情書
意見 都内で唯一の小規模畜産農家の受入れ先である八王子食肉処理場の運営継続は必要であり採択を求める。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)
問 高額療養費増加の要

市民厚生委員会

9月21日に委員会が開催され、議案6件の審査を行い、原案のとおり可決及び認定しました。

問 認定こども園の市外での利用状況はどのような状況か。不現住者の実態調査はどのような形で調べるのか。
答 認定こども園の市外利用は、立川、羽村、瑞穂の5園に合計10名が在園している。不現住者の実態調査は、居所不明者が出た際、本人、関係者、不動産会社や管理会社に、文書で回答を求めたり、届出が事実と反していないかを調べる。



▲市役所1階ロビー(総合窓口)

因についてどう考えるか。保険料給付費の26市との比較はどうか。
答 高額療養費増加の要因は、高額な医療を要する被保険者の増加と考えている。1人当たり保険給付費は、低い方から2番目となっている。
◎平成22年度福生市老人保健医療特別会計決算認定について
本決算は、後期高齢者医療制度への移行に伴う精算分である。

◎平成23年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)
問 国都支基金返還金の額は適正か。
答 平成22年度の介護給付費と地域支援事業費合計28億4196万円のうちの3927万円、1・4%ということ、返還額は適正な範囲内と考えている。
◎平成22年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
問 高額療養費増加の要



▲第二小学校を視察(校庭の一部芝生化)

はどのような事例なのか。
答 例えば迷子など警察で保護したような場合、名前だけ判明し、問い合わせを受けても改正前では情報開示できなかったものが開示できるようになる。
◎福生市スポーツ振興審議会設置条例の一部を改正する条例
問 国のスポーツ振興法がスポーツ基本法になったわけだが概要は。
答 法律は50年ぶりの改正で、今の時代の施策やニーズに合わせた法律が求められていた。民間スポーツクラブ、プロ等も規定に含まれ、協働しながら国の施策として推進していく法律である。
◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
◎福生市防犯カメラの設置及び運用に関する条例
問 条文の中では正告等をする事ができるとあるが、具体的な流れは。
答 市が違反行為等認められた場合、あるいは苦情などに対し事実確認を行い、内部手続き等を経て勧告を行う。
◎福生市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例
問 この基金条例ができることで予定されている事業は。
答 牛浜駅バリアフリー化事業は2カ年計画となっており、この市負担分について9条調整交付

◎平成22年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について
問 葬祭費の扱いは、どう変わったのか。
答 区市町村独自事業が、平成22年4月から広域連合の給付事業となった。
◎福生市再編交付金事業基金条例の一部を改正する条例
問 改正のもとになった再編交付金要綱の概要は。
答 従来ソフト事業のみがハード事業にも基金運用が可能となった。
◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
問 この改正の目的、税制の信頼の一層の改善ということが出てくるが、どのような点で表わされているのか。
答 過料の引き上げが、直接信頼性向上につながることはない。
◎福生市都市計画税条例の一部を改正する条例
問 今回の改正、また経

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

過措置をとることにより、市民への納税に対する変化、影響はあるのか。
答 今回の改正による影響はない。
◎福生市スポーツ振興審議会設置条例の一部を改正する条例
問 国のスポーツ振興法がスポーツ基本法になったわけだが概要は。
答 法律は50年ぶりの改正で、今の時代の施策やニーズに合わせた法律が求められていた。民間スポーツクラブ、プロ等も規定に含まれ、協働しながら国の施策として推進していく法律である。
◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
◎福生市防犯カメラの設置及び運用に関する条例
問 条文の中では正告等をする事ができるとあるが、具体的な流れは。
答 市が違反行為等認められた場合、あるいは苦情などに対し事実確認を行い、内部手続き等を経て勧告を行う。
◎福生市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例
問 この基金条例ができることで予定されている事業は。
答 牛浜駅バリアフリー化事業は2カ年計画となっており、この市負担分について9条調整交付

◎福生市個人情報保護条例の一部を改正する条例
問 やむを得ない理由と

金の充當を計画している。
◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)
問 市税が当初予算と比較し1億9千万円減ということだが状況は。
答 予算段階で源泉税の伸びが見込まれたが、実際の課税状況から減額となった。景気低迷などの影響から全体的に所得の低い区分に移行しているとみている。
問 第三中学校への通級指導学級新設ということだが、現状も含め概要は。
答 通級は1学級10名の定員で、福二学級には現在29名在籍しており3学級としている。現状をそのまま進級した場合を仮定すると、三中では25年度の開設時で2学級となる予定。



「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジター方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。
ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。
議会事務局 ☎042-551-1523

○デジター (DAISY) とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけると思います。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像
※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

議会の動き

【関東空軍施設整理統合計画(KPCP)議員研修会】

平成23年7月26日に横田基地問題に詳しい坂本副市長を講師に招き、KPCPについての議員研修会を開催しました。

【研修会内容】

横田基地については、基地所在の市町村や住民の皆さんにとって、さまざまなしわ寄せのくる迷惑施設であり、行財政への影響も大きく、大変重要な行政課題となっています。

特に、昭和48年にKPCPが実施されたことにより、関東にある他の基地を返還する代わりに、横田基地にその機能の多くが集約されたことは、基地の再編強化につながり、今まで以上の基地公害の増大となりました。

このことから、当時の福生市長を初め周辺市町は、国に対して強い抗議と基地交付金の大幅増額の要望など粘り強い運動を行いました。それを契機に、国は、昭和49年6月に防衛施設周辺の施設環境の整備等に関する法律を施行し、周辺対策のより一層の整備、充実を図るようになりました。

現在、そういった経緯を知る福生市の議員や国の職員は少なくなってきた状況にあります。

一方、このKPCPによる横田基地の機能強化の住民等への影響は、現在も継続していることから、議員改選による新たな議会構成となったことに伴い、そうした基地の歴史についても一度再認識し、国に対してより一層強く発言していくために、この議員研修会を開催しました。



▲研修風景

特別委員会活動がら...

災害に強いまちづくり特別委員会

9月26日に委員会が開催されました。それまでの4回の委員会協議を含めて報告します。

◎緊急を要する検討事項について
この間、委員会として、多岐にわたる課題を出し合い、それを47件の検討項目として整理しました。そして、その中から、緊急を要する検討事項として、被災地支援の「ボラ

◎自主防災組織の充実・強化について
福生市において最も想定される大地震による災害にしほり、まずは、重要な役割が期待される自主防災組織の充実という観点から、検討を開始しました。

横田基地対策特別委員会

9月26日に委員会が開催され、3件の議題について協議を行いました。
1、航空自衛隊航空総隊司令部の移駐状況について
隊員の移駐状況は、現在の人員は70名となっております。最終的には今年度中に800人が移駐する予定。施設の整備状況は、自衛隊施設関係では、厚生施設、基地内通信線路等が延長になっている。第5ゲートについては、国道16号との段差調整するため、10月中旬の完成見込みとなった。また、第5ゲートは、工事完成後、日米で共同使用になるとのこと。

2、横田基地友好祭について
今年の友好祭の入場者は、雨などの影響で、昨年より1万3千人少ない11万7千人であった。展示機は、米軍のC130、A10、自衛隊のE2Cなど30機であった。
牛浜駅の混雑状況は2日間の乗降客は6万8千人で、昨年より1万2千人ほどの減。
牛浜駅では、JRによる2日間で40名の職員を派遣し、利用客の安全確保と誘導にあたり、簡易改札機も1台設置して対応したとのこと。

3、横田基地に対する事件、事故等について
横田基地に保管されている放射性廃棄物については、米軍が東日本大震災時の「トモダチ作戦」で使用した航空機等を除染するために用いた布などであり、布等はドラム缶3本、



▲総合防災訓練(23.8.28)

① 会員意識の発揚
町会や自治会と異なり、自主防災組織は全員会員という意識の共有
② 基礎になる隣近所
10人前後の隣近所での班を基礎にした普段からの確認、訓練。
③ 地域ごとの自主防災組織表・マニュアルの作成
リーダー、役割分担、一時避難場所など。
④ 事業所の参加
⑤ まち歩きで防災マップづくり
⑥ 避難所運営
⑦ 防災倉庫の内容点検・充実
⑧ 行政の役割と連携

次回は、自主防災組織について、さらに課題を整理し、時間の経過にしたがってシミュレーションしながら検討してまいります。

放射線液体廃棄物は956リットルで、保管されている建物の周囲で放射線は検出されていない。液体廃棄物は原子力安全委員会の設けた基準に従い、適切に処理されているとのこと。



▲防衛省本省へ要請行動(23.8.2)

最終日は午後5時前に閉会となりましたが、更なる効率化を目指してまいります。◆防犯カメラの設置及び運用に関する条例が制定されました。福生駅東口の商店街に防犯カメラが設置されることになっていきます。犯罪の抑止効果と事件発生時の捜査に役立つと思われ、防犯カメラなど要らない社会がくることを望んでいます。◆残暑厳しい中9月定例会が始まりましたが、終わってみれば市の木でもあるキンモクセイの香りが漂っていました。

編集後記

9月定例会の会期中、台風12号に続き台風15号も上陸し大きな被害をもたらしました。◆初日には明るい選挙推進委員を初め市民の皆さまが傍聴に来てくださり、傍聴席に座りきれない方もいました。会期を通してたくさんの方の皆さまに傍聴していただき、緊張する一方で力が湧いてきます。◆9月定例会では決算審査が行われました。一般会計決算審査特別委員会は4日間続きますが、定時内で審査を終えることを目標に分かりやすい質問、要領の良い答弁を心がけることにしました。結果、

